警の科学捜査研究所（科捜研）が実施。物質を高温ガスで気化させ、分離した化学成分を検知するガスクロマトグラフ質量分析計を用いている。

しかし、同じ機種でも分析結果が異なることもあり、統一的に鑑定することとした。

また、警察は殺虫剤を作る際にできる不純物の比率の違いに着目。各地で検出された殺虫剤が同じ製造工程で作られたものかどうかを判断する。

ただ、メタミドホスは時間の経過や紫外線に触れることにより分解、変質するため、各地の殺虫剤成分を同一と断定するのは困難。実際には殺虫剤の偽装などの類似性の有無を判断する程度になるとみられる。

これまでメタミドホスの混入が確認された「中国産ぎょうざ」のうち、仕事のどこからが残業かを明確に区分することが難しい教員について、時間外勤務手当を導入する方向で検討に入った。

文部科学省は九日、公立小中学校の教員給与に関する特別措置法（給特法）が、実態に応じた公平な配分に改める方針。

「教職調整額」が、伸び悩む勤務意識に大きな変化が生じることが予想される。

教職調整額見直し方向

教員給与に残業手当

時間管理に課題も

文科省検討

今夏の二〇〇九年度予算概算要求までに結論を出すことを目指す。

教職現場では、教員の勤務は自発的なもの、との理念の下、「残業」という概念がない。調整額は、繁忙時でも休職中でも一律支給になっている。同省は昨年、勤務の負担に応じて調整額を増減させる改革案を検討したが、次の段階から断念した。

同手当の導入では勤務時間の厳密な把握や管理が必要となるが、例えば試験の採点を自宅に持ち帰るケースをどうするかなど、制度設計には課題も多い。一方で、的確な管理が行われれば、特定の教師に過剰な負担が掛かることも非効率な残業を抑制する効果があるという。

ただ、残業の制度化には、教育関係者に抵抗感が根強い。「自発的勤務を旨とする教職にはなじまない」という理由からである。

（こうした点を踏まえながら同省は検討を進めるが、財源論議では財務省との攻防も予想される。時間外勤務手当に転換する案を軸に、再検討することとした。）

「ライフログ」いかが!?

人の一生 検索できます

「この人、誰だったかな」とひやひやしながら話を合わせていると、相手の名前が目分の眼鏡に表示される―。探し物を最後に手にしていた映像が再生され、すぐに見つかる―。未来を描いた映画のようなワンシーンを現実化させようという研究が、盛んになっている。人間が見たことや話したこと、出掛けた場所などを一生分、丸ごとコンピューターに記録し、検索可能にする「ライフログ」。「人間の記憶をうまく補強したい」と語る兵庫県内の研究者を訪ねた。

（記事・写真 殿 貴則）

小型カメラや記録した映像を再生し、学生と体験を共有する河野教授（右）＝三田市学園2、関学大院大学

■関学大理工学部・河野研究室■

「見た、聞いた」をデータ化

ワイド&ズーム

関西学院大学理工学部（三田市）の河野恭之教授の研究室。小型カメラ付きのヘルメットやおしゃれにカメラやコンピューターを収納した身につけるためのポーチなど、ライフログ用の機材が並ぶ。

河野教授は大手電機メーカーの研究者出身。これまでの経験を生かし、システムを考案した。

衣服のように身につけられる「ウエアラブルコンピューター」をまとい、小型カメラで捉えている目の体験を撮影。映像や音声などを丸ごとコンピューターに記録する。記録される現在の映像と類似する過去の映像があれば、自動的に検索しモニターなどに表示する仕組みを組んだ。

身近な出来事を記録できるライフログの活用例は無限にあるという。

例えば認知症の高齢者が、決められた時間に必要な薬をきちんと服用できたかを医療や福祉の分野。さらに事件や事故は、発生状況などを知る重要な手がかりにもなりうる。自分の体験を他人に見せてコミュニケーションを図るためにも使える。

河野教授が身近な出来事を記録する重要性を感じたのは、一九九五年一月の阪神・淡路大震災がきっかけという。当時は妻の母の自宅マンションと実家が全壊。当時は妻の母りの状況を記録する余裕はなく、崩壊した自宅を写真に収めたのは震災からしばらくたってからだった。

「日常の重要な場面を確実に記録し、いつでも再現できる仕組みが必要」と感じた」

ファッションショー形式で披露されたライフログ用のコンピューター機器（河野恭之教授提供）

◆

ライフログ研究の歴史は古く、すでに一九四五年にはアメリカ人科学者が提唱。科学技術の進歩に伴い、カメラやコンピューターなどの高性能、小型・軽量化や記録装置の大容量化が実現を後押ししている。

ちなみに七十年分の人生を記録するには、十テラバイトの記憶容量が必要という。記憶容量百分の一のノートパソコン百台分に相当する。

河野教授は「技術が進めば悪用されることもあり得るが、人生にプラスになる使い方を提案したい」と話している。

11日夕刊と12日朝刊休みます

十一日（月）、建国記念の日は新聞製作を休み、夕刊と十二日（火）の朝刊は休刊とさせていただきます。

神戸新聞社

論説さろん

原油高騰の中、物価上昇が加速してきた。昨年十二月の消費者物価は〇・八%と九年九カ月ぶりの上昇率になった。ガソリン、灯油や食料品など身近な物資でとくに値上がりが目立つというから悩ましい。

物価に神経をとがらす日数の見方も厳しい。先月末の経済財政諮問会議では、福井総裁が「場合によっては一%上昇も」と発言している。ますます警戒が必要になりつつある。

物心がついて以来、インレの下で育ってきた若い人には初めて経験する状況だろう。かつての石油危機を知る中高年にとっても、久

良い物価高

しぶりに感じる物価上昇は未経験だ。

が、何…

ある。物価…

乗り、マイ…

ない。大…

りは…

ら、かえ…

ことも大…

つまり…

一方で…

存すると…

モノの…

は、人…

に厳し…

どはコス…

れ、賃…

られな…

的な…

しかし、

医療・災害分野で活用が夢